

ゴンドラ

No.18

新たな文化財 - 安田家住宅主屋 -

昨年11月、青谷にある「安田家住宅主屋」^{やすだけしゅうたくおもや}を登録有形文化財建造物として登録するよう、文化庁の文化審議会は文部科学大臣に答申しました。登録は官報告示をもって正式決定となり、例年にならば、今年の2月末頃に告示される予定です。市内では、築留二番樋、玉手橋、カタシモワインフード貯蔵庫、天理教北阪分教会、寺田家住宅に続く、6件目の登録有形文化財の誕生です。

登録有形文化財とは、国が1996年から始めた制度で、国宝や重要文化財など厳選する「指定制」だけではカバーしきれない文化財について、「届出による登録制」という緩やかな規制により保存と活用を図ることが目的です。2022年4月からは、芸能や風俗慣習などの無形文化財・民俗文化財も登録対象となり、また地方自治体でも、独自に登録文化財制度を設けることができるようになります。

安田家は青谷で庄屋を長らく務めた家で、主屋はかつての調査で確認された祈禱札から「延享3(1746)年」の建設とされています。桁行11間、梁行5間の木造平屋建、市内では貴重となった茅葺の大屋根が特徴的で、内部の土間では立派な梁が遺されています。

青谷にはほかに、市指定文化財の^{わんだ}椀田地蔵尊、^{たにじり}谷尻地蔵尊、^{だもんじょ}大門所地蔵尊、^{しょうがみ}庄上地蔵尊、^{みなみ}南地蔵尊といった鎌倉時代から江戸時代にかけての地蔵尊が5体あり、また2020年に日本遺産に認定された「龍田古道」が通っています。青谷は市内にいくつかある歴史スポットのなかで、今後要注目の場所といえるでしょう。 ※安田家住宅の一般公開は行っていません。



安田家住宅 外観



安田家住宅 土間（奥）

企画展のご案内

◎令和3年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーくらしのなかの布ー」

令和4年1月4日～3月6日

毎年開催している昔の道具を中心にした展示で、小学3年生の学習内容に合わせた内容となっています。今回は、昔の服、洗濯板、炭火アイロン、ミシンなど、布に関係する道具を紹介します。

◎令和3年度春季企画展「聖徳太子の伝説と真実ー柏原・王寺・三郷の道と寺ー」

令和4年3月26日～6月12日

聖徳太子没後1400年を記念して、柏原周辺の聖徳太子伝説を紹介し、その真実に迫ります。王寺町・三郷町との共催展示です。

お知らせ

◎講座

館長と学ぶ河内の古道講座【定員：80名、会場：研修室、参加費：200円、先着順】

当館の安村俊史館長による河内の古道についての講座です。

◆第10回 令和4年2月26日（土）13：30～15：00 「駅家の構造と駅伝制」

◆第11回 令和4年3月26日（土）13：30～15：00 「平城から難波への行幸路」

※4月以降の内容は、ホームページ、広報などでお知らせします。

◎オンラインイベント

ビジュアルヒストリーガイド in 柏原【参加費：無料、申し込み：不要】

遺跡の様子をリポーターが現地から中継し、当館の学芸員が遺跡の解説や出土資料について紹介します。どなたでもパソコンやスマホがあれば、ご自宅やお好きな場所から自由に参加いただけます。

◆令和4年2月28日（月）14：00～15：00 紹介遺跡：高井田山古墳

【参加方法】

①右の2次元コードを読み込み、ZOOMをダウンロードし、インストールしてください。

②インストール後、開催10分前になりましたら、再度2次元コードを読み込んでください。

※ZOOM利用時にかかる通信料は各参加者の負担となります。通信には、Wi-Fi環境下でのご参加をお勧めします。



◎刊行物

- ・三田家文書目録Ⅰ [柏原市古文書調査報告書第16集] 500円…柏原市今町所在の三田家が所蔵する古文書類の調査報告書です。
- ・『柏原市立歴史資料館 館報33号』400円…令和2年度の活動報告のほか、調査・研究報告の「推定国分中学南古墳の円筒形埴輪」「天和3年の大和川付け替え反対嘆願書」を掲載しています。

企画展を終えて

★令和2年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーモノをハカるー」

令和3年1月5日～3月7日 見学者数 1,042人（個人 953人、団体 89人）

★令和2年度春季企画展「長瀬川と玉串川」

令和3年3月27日～6月13日 ※4月25日～6月20日まで臨時休館

見学者数 521人（個人 521人）

★令和3年度夏季企画展

「日本書紀と柏原」

令和3年7月3日～8月29日

見学者数 1,323人（個人 1,309人、団体 14人）

★令和3年度秋季企画展

「つけかえ反対！

ー大和川つけかえに反対した人たちー

令和3年9月14日～12月5日

見学者数 5,772人（個人 1,684人、団体 4,088人）



「長瀬川と玉串川」展示の築留二番橋模型
(市民歴史クラブ製作)

オンライン動画配信による情報発信

今年度からの新たな取り組みとして、ボランティア団体と柏原市社会福祉協議会と協力し、月に数回程度、市内の高齢者福祉施設へ向けてオンライン動画配信をしています。パソコンやスマートフォンでの接続サポートを柏原市社会福祉協議会が担当し、1時間ほどの間、ボランティア団体による紙芝居、当館学芸員による所蔵民具の紹介などを行っています。

オンラインならではのことで、紹介した民具について、家にあったかどうか、使っていたときの様子はどうかなど、こちらから質問し、答えていただくこともやっています。そうしたなか、例えば氷冷蔵庫について、氷屋さんから買った氷は1日半くらいで溶けてしまうことや、陶器製のサイコロは、遊んでいたら欠けることがあって困ったなど、貴重な実体験の声を聞くことができました。当館では、昔の道具に関する出前講座も行っていますが、サイコロならまだしも、氷冷蔵庫を運んで話をするのは大変なので、オンラインで資料を紹介できるメリットも感じています。

今後は新型コロナの状況に関わらず、こうした取り組みのニーズは高まっていくでしょう。オンラインを通じたメニューの充実を図っていきたいと思います。



動画配信の様子

特集展示「三田家文書の世界」

令和3年12月21日～翌3月13日まで、特集展示コーナーにて、「柏原船」の物流基地として江戸時代に建設された柏原村 今町の旧家、三田家 所蔵の古文書を特別公開しました。当館では、平成25年度より、三田家ご当主のご好意により、市内屈指の質・量をほこる当該文書の調査を継続してまいりました。この度、古文書調査報告書 第16集として『三田家文書目録Ⅰ』を刊行するに至り、それを記念して、目録掲載の史料の一部を展示させていただくこととなった次第です。

今回の展示品のなかには、「柏原船」の成り立ちを記した「柏原船由緒書」のうち、『柏原市史』に全文翻刻がなされ、一般に周知されている本より古い系統に属するものや、大和川付替え直後、宝永年間の市村新田における綿や麦の栽培記録など、たいへん興味深い史料が含まれています。独特の「くずし字」で書かれている古文書は、読むのも一苦勞ですが、まさに「宝の山」なのです。

当館では、今後とも、各家古文書の調査を進め、目録の刊行、および展示というかたちで、その成果を公開してまいります。もし、ご自身、もしくは、身近な方に、古文書の寄贈・寄託を許可していただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ当館にご一報くださいますと幸いです。

古文書の世界をもっと知りたい、という方に向けて、月1回、古文書講座も開講しています。こちらでも三田家文書を活用させていただき、「くずし字」の基礎を学ぶ初級編では、三田家の祖 浄久が記した地誌『河内鑑名所記』を、古文書を深く味わう中級編では、上記の由緒書をテキストに用いています。広報に募集を掲載いたしますので、ご興味おありの方は、ぜひご応募ください。



古文書は「宝の山」

ひとこと

昨年度に続き、令和3年度においても、新型コロナウイルスが各方面に暗い影を落としています。安田家住宅が登録文化財になるなど、明るいニュースもありました。また、こうした時勢だからこそ取り組んできたオンラインイベントも徐々に拡充していきますので、ぜひご期待ください。(W.Y.)

柏原市立歴史資料館 休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始

開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 TEL:072-976-3430

歴史資料館ホームページ2次元コード

